

原文	修正文
アジア諸国と日本 日本は、占領した各地で軍政をしいた。現地の独立運動の指導者たちは、欧米諸国からの独立を達成するため、日本の軍政に協力した。 しかし、日本の占領地域では、日本に対する反発もあった。連合軍と結んだ抗日ゲリラ活動も起こり、日本軍はこれにきびしく対処した。また、現地の人々に対して行った徹底した軍事訓練が不評をかうこともあった。とくに、戦争末期になり、日本にとって戦局が不利になると、食糧が欠乏したり、現地の人々が過酷な労働に従事させられる場合もしばしばおきた。 のちに日本が敗戦し、…参加する者もいた。日本の南方進出は、もともとは日本の「自存自衛」のためだったが、アジア諸国が独立するにいたるまでの時計の針を早める効果をもたらした。 108 日本の占領地域の実態について、誤解するおそれのある表現である。 109 日本の戦争目的について、誤解するおそれのある表現である。 110 アジア諸国の独立の経緯について、誤解するおそれのある表現である。	アジア諸国と日本 <u>この戦争は、戦場となったアジア諸地域の人々に大きな損害と苦しみを与えた。とくに中国の兵士や民衆には、日本軍の侵攻により多数の犠牲者が出た。</u> 日本は、占領した東南アジアの各地では軍政をしいた。現地の独立運動の指導者たちは、欧米諸国からの独立を達成するため、日本の軍政に協力した。 しかし、日本の占領地域では、日本語教育や神社参拝などをしいたことに対する反発もあった。連合軍と結んだ抗日ゲリラ活動も起こり、日本軍はこれにきびしく対処し、一般市民も含め多数の犠牲者が出た。また、戦争末期になり、日本にとって戦局が不利になると、食糧が欠乏したり、現地の人々が過酷な労働に従事させられる場合もしばしばおきた。(2) のちに日本が敗戦し、…参加する者もいた。日本の南方進出は、もともと資源の獲得を目的としたものだったが、<u>アジア諸国で始まっていた独立の動きを早める一つのきっかけともなった。</u> <u>②このため、敗戦後になって、日本は、これらの国々に賠償を行った。そして、大東亜共栄圏の考え方も、日本の戦争やアジアの占領を正当化するためにかかげられたと批判された。</u>